

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和6年12月3日(火)
午前11時25分から午前11時54分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 水野忠三 (副委員長) 鬼頭博和
(委員) 日比野走、井上真砂美、伊藤隆信、塚崎海緒、榎谷規子
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 御嶽千夏
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

水野委員長：行政視察の調査先として春日井市を提案する。資料を配付したので後でゆっくり見てほしい。春日井市へ行く場合、組み合わせる調査事項について鬼頭副委員長から説明をお願いする。

鬼頭副委員長：春日井市に行くのであれば、市内DXなども皆さんの同意が得られれば見てきてもいいかと思っている。いかがか。

水野委員長：他にも希望の視察先があれば出していただきたい。なければ春日井市への打診を正副委員長で進めたい。

伊藤委員：春日井市でもいいが、春日井へ行った場合、予算はまだ残るのか。

水野委員長：事務局いかがか。

議会事務局長：春日井市までの交通手段にもよる。以前聞いている1月30日と31日は公用車の空きがない。

水野委員長：公共交通機関を使用した場合は大体いくらぐらいか。

議会事務局長：以前もお伝えしたとおり、残額から見れば関西や東京も行ける。

水野委員長：日程的に行くとしたらあと1回。予算は執行残になる。

塚崎委員：消防のハラスメント問題で三重県の松阪広域消防と志摩広域消防に行きたい。

日比野委員：東京までの旅費があるということで希望を出したいが、兵庫県の川西市は議案についての質疑にロゴチャットを使用しているようなので、市内業務改善の参考として視察したい。

水野委員長：それは実証実験ではないか。

日比野委員：実証実験ではない。

水野委員長：春日井市と兵庫県川西市と三重県の松阪と志摩が挙がった。全部行くわけにはいかないが、ほかの委員はいかがか。

塚崎議員：行く時期を1月末としているが、現在議会中で、事務局の負担が大きいため行く時期をあと1か月遅くできないのか。

鬼頭副委員長：3月定例会が始まってしまうので難しい。

日比野委員：それも踏まえて1月末か2月上旬かに決めたのでは。

水野委員長：1日で複数は難しい。

日比野委員：この場で一つに絞ったほうがいい。

水野委員長：先方が受けてくれるかどうかもあるので、優先順位を決めて打診したほうがよい。多数決で多い順でよろしいか。委員長を除いた6名に挙手をお願いする。

春日井市：3人 川西市：1人 三重県：1人

第2順位はどちらがよいか挙手をお願いする。

川西市：3人 三重県：2人

梶谷委員は挙手がないがよいか。

梶谷委員：よい。

水野委員長：では春日井市、川西市、三重県の消防という順で打診する。質問項目については、川西市になった場合は日比野委員から書面で提出していただきたい。質問事項については一旦正副委員長にご一任いただきたいがよろしいか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

水野委員長：質問事項については正副委員長に一任いただいた。

（2）その他

塚崎委員：今回の一般質問で女川町の視察内容が誰も入っていないがそれはよいか。

水野委員長：取り上げないといけないという規則はない。また、3月の一般質問でやっていただいてもよい。自分もそこは思うところではあるので、誰もいなければ関連することを3月に聞こうと思っている。

塚崎委員：視察の報告を議会だよりに掲載していると思うがそれはどのようなか。

水野委員長：正副委員長で報告書を定例会中に作成する。議会だよりに掲載するのであれば、別途議会だより用の原稿を提出する。広報委員会から依頼があった後に提出することとなる。載せるかどうかは広報委員会が決定すること。

8 その他

なし